

2017年9月25日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社シナプスイノベーションの「SMB C働き方改革私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は株式会社シナプスイノベーション（代表取締役社長：藤本 繁夫）の発行する「SMB C働き方改革私募債」を買受け致しました。

「SMB C働き方改革私募債」は、私募債買受け時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（1）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う商品です。

今回対象となった、株式会社シナプスイノベーションに対する診断結果は、今後、更なる働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、株式会社シナプスイノベーションでは、以下のような取組と実績を有しておられます。

週休 3 日正社員制度、フレックス勤務制度、自己研鑽のために離職した社員への復職パスの発行等、従業員の事情に合わせた多様な取組を実施  
ジョブシェアリング、打合せ時間の短縮、意思決定のための集中的な議論の実施等を通して生産性を向上させ、時間外労働時間を 2 年連続で削減  
メリハリのある働き方を浸透させることで、年次有給休暇の取得率は約 7 割に上る(2016 年度実績)

さらに同社では、今後のさらなる働き方改革に向け、経営トップが「社員の多様な価値観や生き方と会社の方向性を融合し相乗効果を発揮する、“ワークライフシナジー”の実現」を宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として以下をコミットしておられます。

- ・高齢になっても 100%雇用を維持（現状定年制を廃止）
- ・女性の育児休業取得率 100%を維持
- ・個人に偏っている負荷を平準化し、仕事の属人化をなくす

今回の株式会社シナプスイノベーションに対する「SMB C働き方改革資金調達」実行は、当行で初めての成約事例（2）です。三井住友銀行では、「SMB C働き方改革私募債」により、お客さまの働き方改革に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。



育児休業後、在宅勤務を行う社員



60歳を越えて現役で働く社員



海外企業との提携・交流を実施

#### シナプスイノベーションについて

独立系 Sler。社是は「三方よし」。ミッションは「つなぐ、革新する、広げる」。顧客の IT 導入において、案件の上流段階から参画し、経営改善の企画・実行を支援する。2017 年に次世代型生産管理システム「Hybrid Denno」をリリース。IoT 装置・ロボット・AI ソフトウェアのメーカーと提携し、商品開発を進める。また、イギリスの子会社（システム開発）、オランダの提携企業（ソフトウェアメーカー）とのパイプを活かし、海外展開を進める。

（ 1 ）

“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）に業務を委託しております。

（ 2 ）

同日付で、他 2 社 2 件の実行を行っております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。